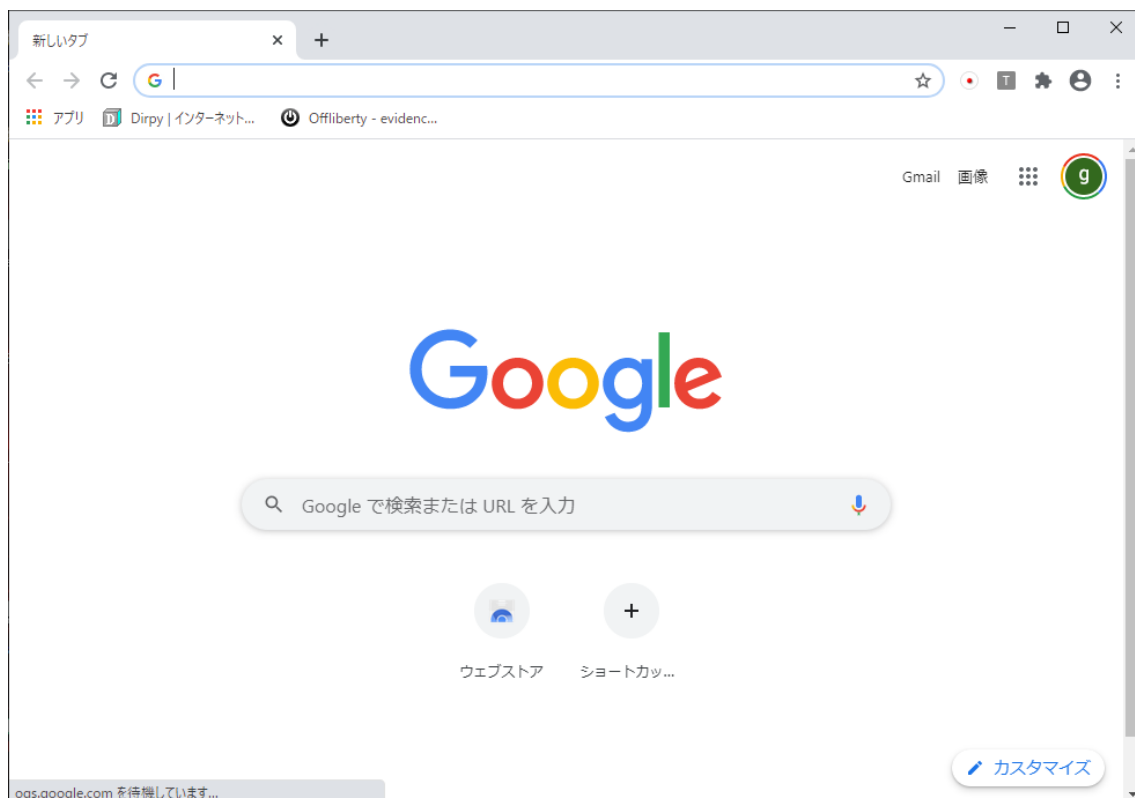
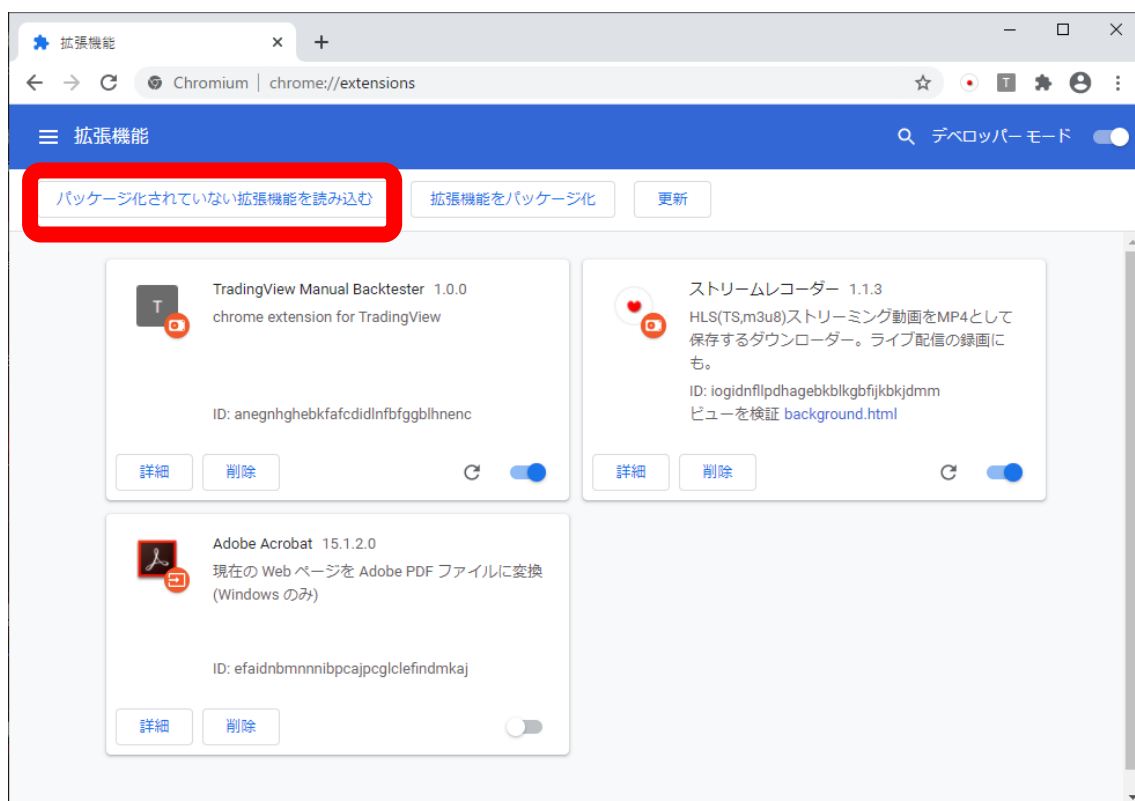


## TradingView BackTester と拡張機能の導入方法について

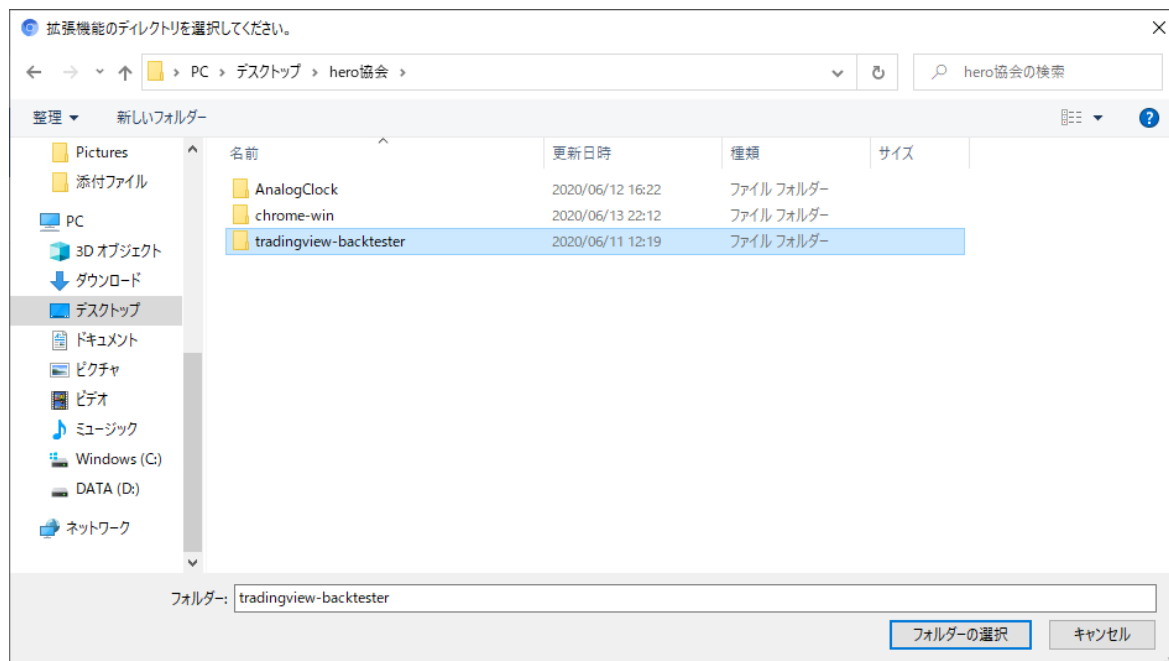
1. まず Chrome を開きます。Chromium 版 Edge でも拡張機能が利用できます。



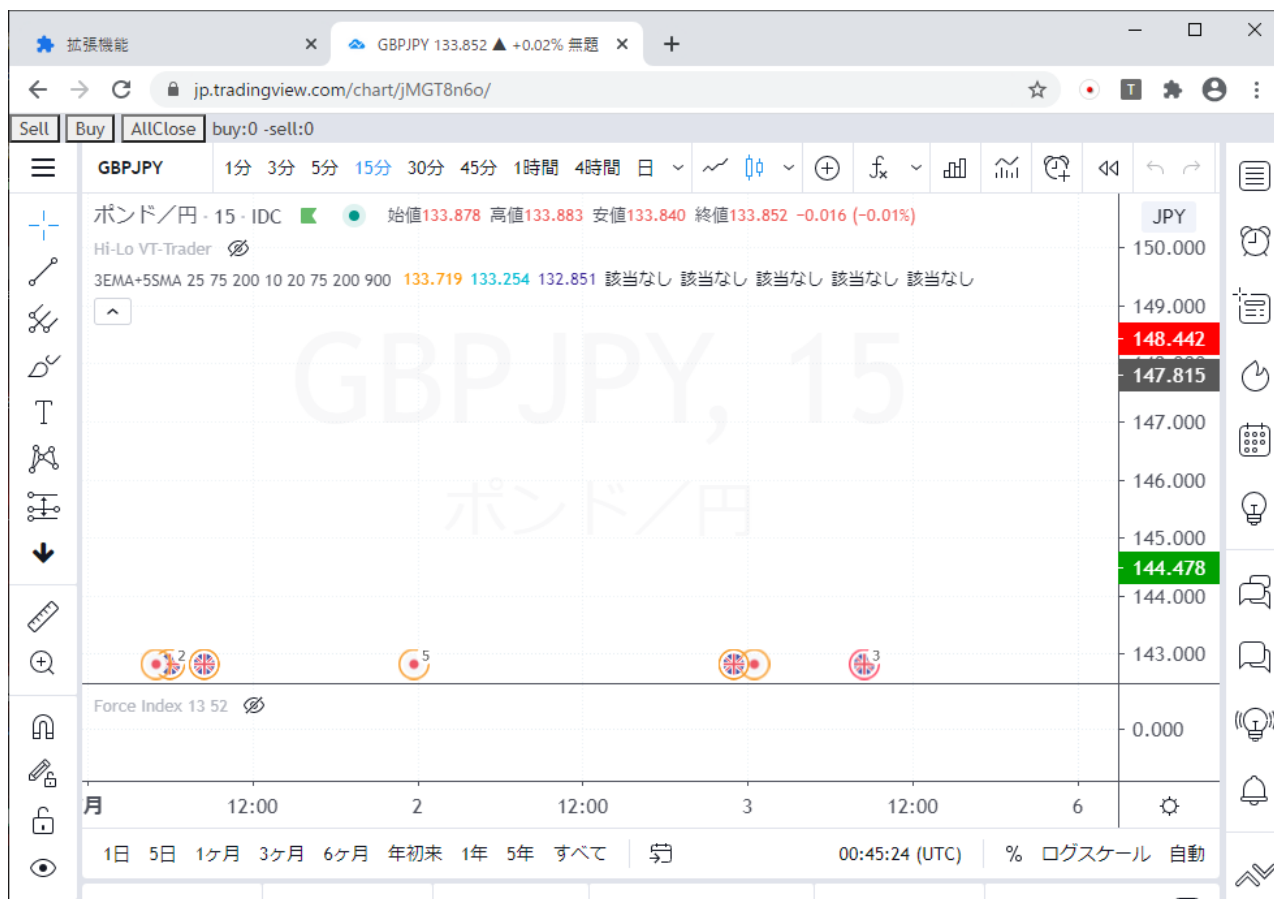
2. アドレスバーに `chrome://extensions/` と入力します。Edge の方は, `edge://extensions/` と入力します。



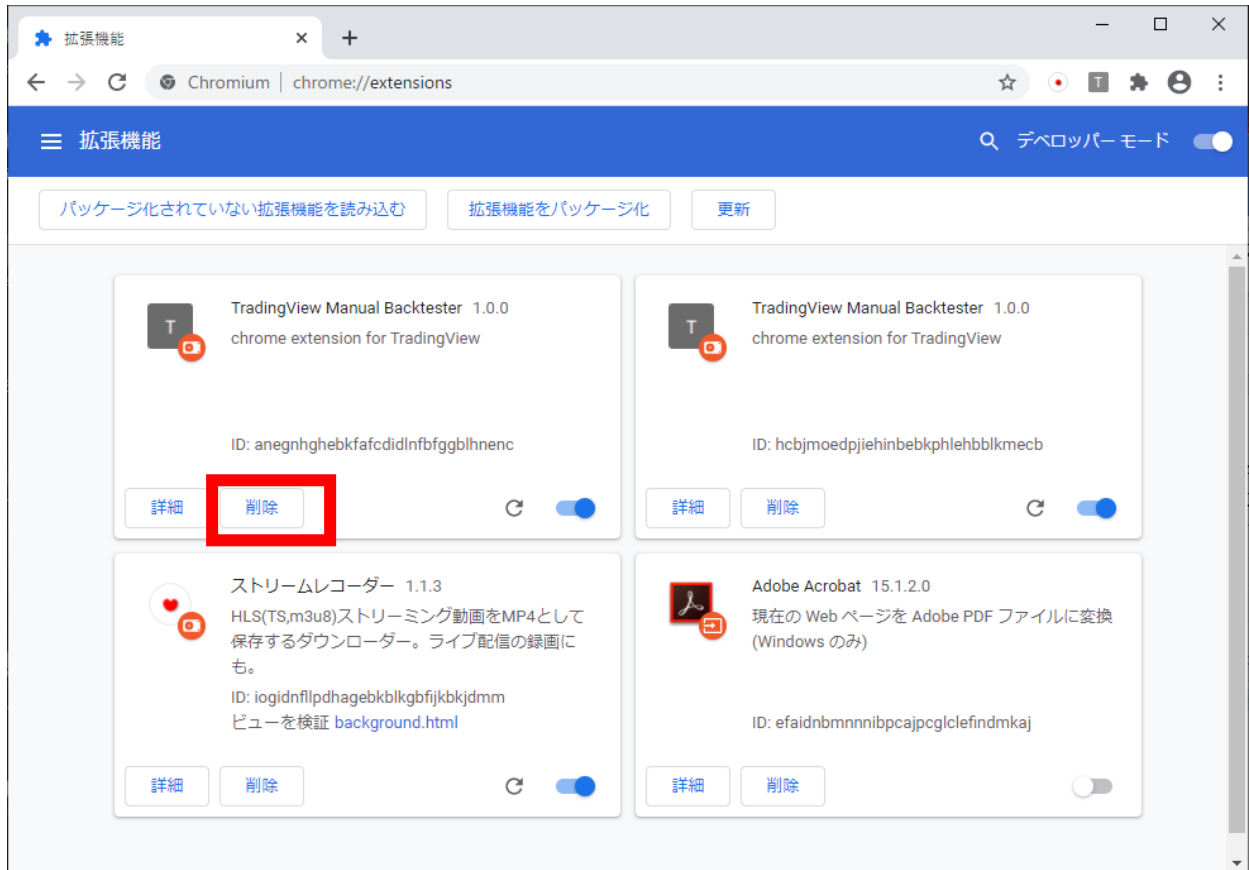
3. パッケージ化されていない拡張機能を読み込むを選択します。ファイルダイアログが開くので、拡張機能が入ったフォルダを選択します。



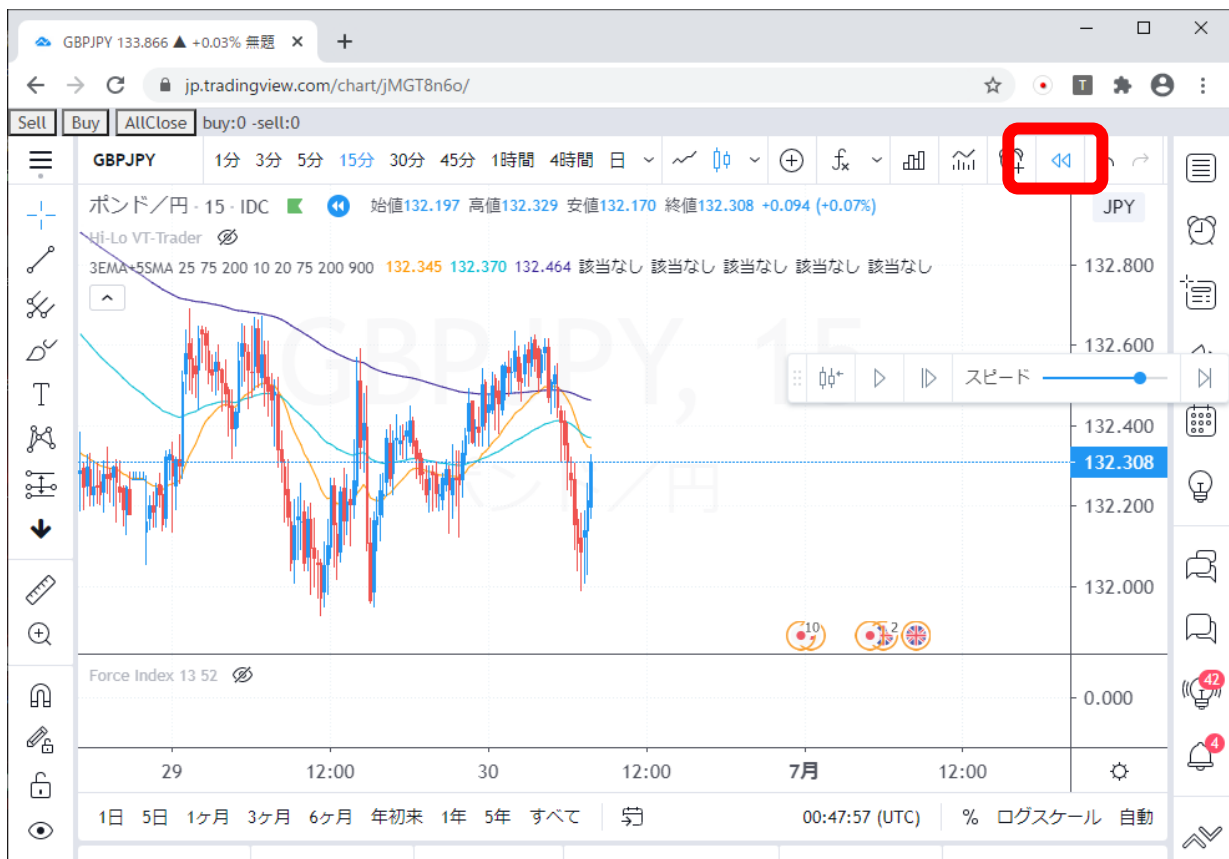
4. これで準備完了です。<https://jp.tradingview.com/>にアクセスし、チャートを開いて右上に Buy,Sell, AllClose ボタンが配置されていれば導入については完了です。



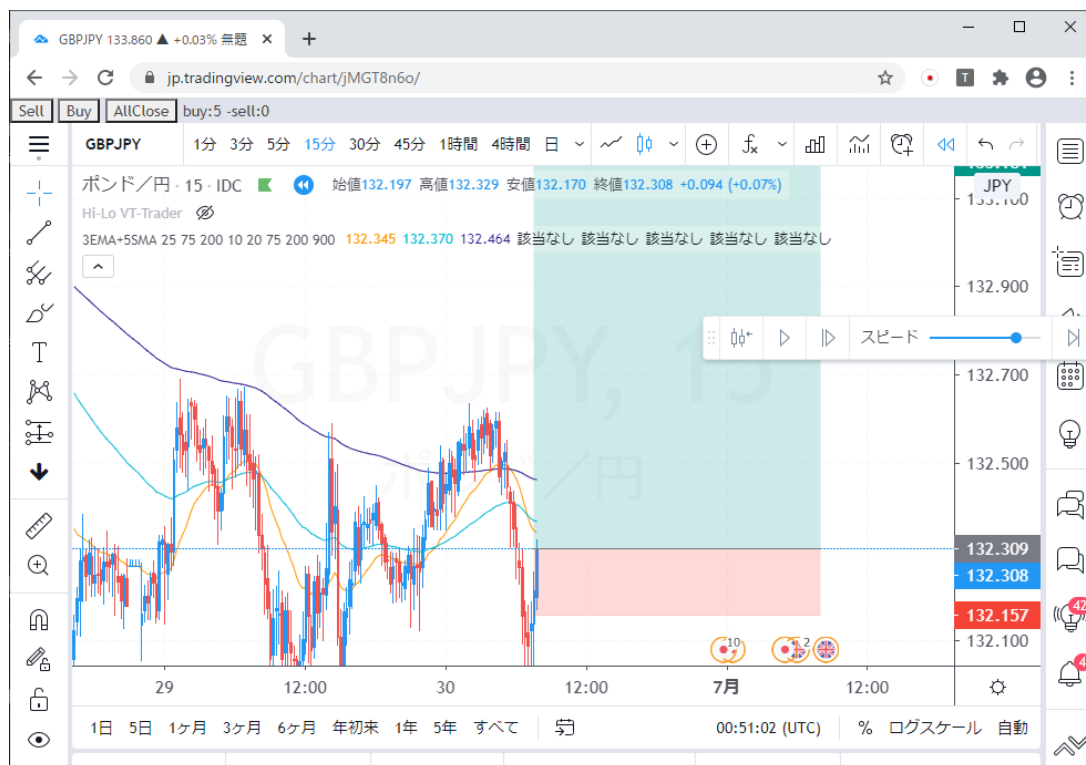
5. 拡張機能を消すには、さきほどの拡張機能管理画面で削除を押します。



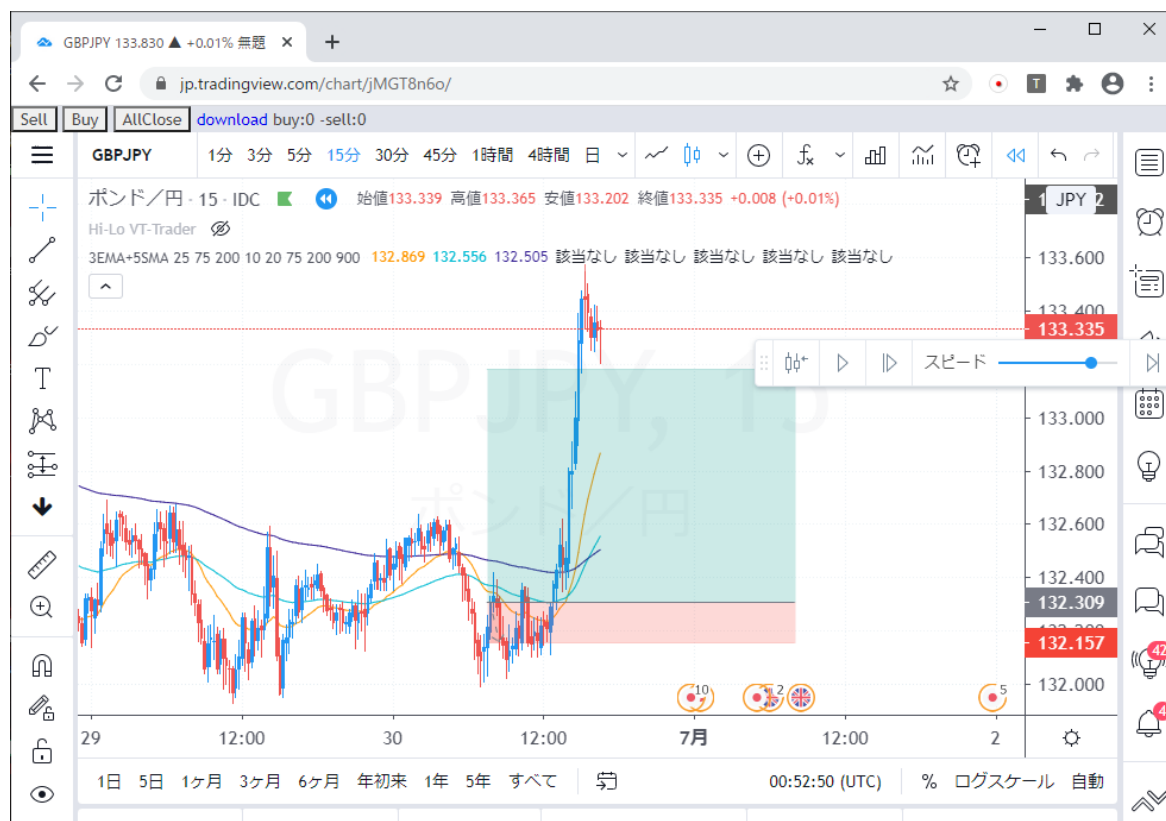
6. 次に使用方法です。バーのリプレイ機能を使います。任意のところにカーソルを合わせて、過去チャートにしたなら、再生ボタンを押して自分がエントリーしたいタイミングで Buy や Sell を押してください。



7. 以下は、Buy を5回押しました。エントリーしたタイミングが分からなくなってしまうので、任意に何か図形を配置することをおすすめします。



8. チャートを再生していきます。好きなタイミングで、ポジションクローズしてください。ポジションをクローズするとダウンロードボタンができます。このダウンロードを押すと、CSV データをダウンロードすることができます。一度ダウンロードすると、内部で保持しているデータが消えてしまうので、ダウンロードボタンをおしたら、必ず保存するようにしてください。逆にダウンロードボタンを押さなければ、データは保持され続けるので、最後にまとめてダウンロードすることも可能です。



9. 最後に CSV データの中身についてです。A 列がポジション方向, B 列がエントリーした価格, C 列がクローズした価格になります。